〇あきらめずやり抜く力〇言葉を通して伝え合う力〇自学力(家庭学習)

校訓	
	賢（かしこく）
	優（やさしく）
	健（すこやかに）

ゆりのきっ子

宇城市立松橋小学校　学校便り　NO.１１
令和元年６月１３日　　文責　主幹教諭　山本直子

それぞれのペースで・・・

先週の金曜日は、審議員授業があり、宮川クラス、岩田クラス、有水クラス、そして、吉本クラスの４クラスを審議員の先生に見ていただきました。その中の吉本クラスゆりのき２の１を見せていただきました。２年生の２人が算数「長さ」を勉強していました。物差しの使い方を学ぶと教室にあるいろいろなものを測りだした２人。いつも見ているものの長さがはっきりと分かるごとにどんどん笑顔になっていきました。

いったん自分が測ったものを先生と一緒に確認した後、なにげに１人の男の子が自分の手を測り始めました。それを見た先生はすかさず、「おっ、手の長さを測っているね。物差しはどこにでもあるわけではないから手で測れると便利だよね。じゃあ、親指と人差し指を開いた長さを測ってみよう。」と投げかけられました。

２人の男の子が測ると約１０cm。今度は、指物差しを使って１０cmの長さを探し始めました。１時間の授業の中で、難しい場面では困った顔、分かってくるとにこにこ。先生に認めてもらうと自慢げ。それを見逃さず認めていかれる吉本先生。

同じ教室の中ではゆりのき２の２も勉強していましたが、それぞれのクラスが自分たちの学習に集中して学習していました。そこには、場の工夫もあります。机の向きや小さめホワイトボードなどなど。

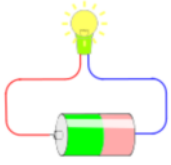
また、子ども達の机の上を見るとカレンダーが貼ってありました。自分で登校したらシールを貼るそうです。何気ない活動ですが、全部シールで埋まったらきっとうれしいことでしょう。明日も頑張ろうという気持ちが出てくる子もいるのではないでしょうか。

１人１人が最大限に力を発揮できる場はいろいろなところにあります。

理科の教室から・・・

今、４年生は「電池のはたらき」を学習しています。電池の向きを反対にするとモーターが逆に回ることを学びました。振り返り場面で上野こうたさんが、「電池の向きを変えると、プロペラの風が前に出たり後ろに出たりすることから、ぼくは、いつも前向きに生きていけるように向きを同じ方向に向けておきたいと思いました。」と

私の遙か上をいく考えでびっくりしました。学習したことを自分のこれからの生き方と結びつけて学びを実感したこうたさんでした。これを聞いた子ども達も何かを感じてくれたのではないかと期待しています。



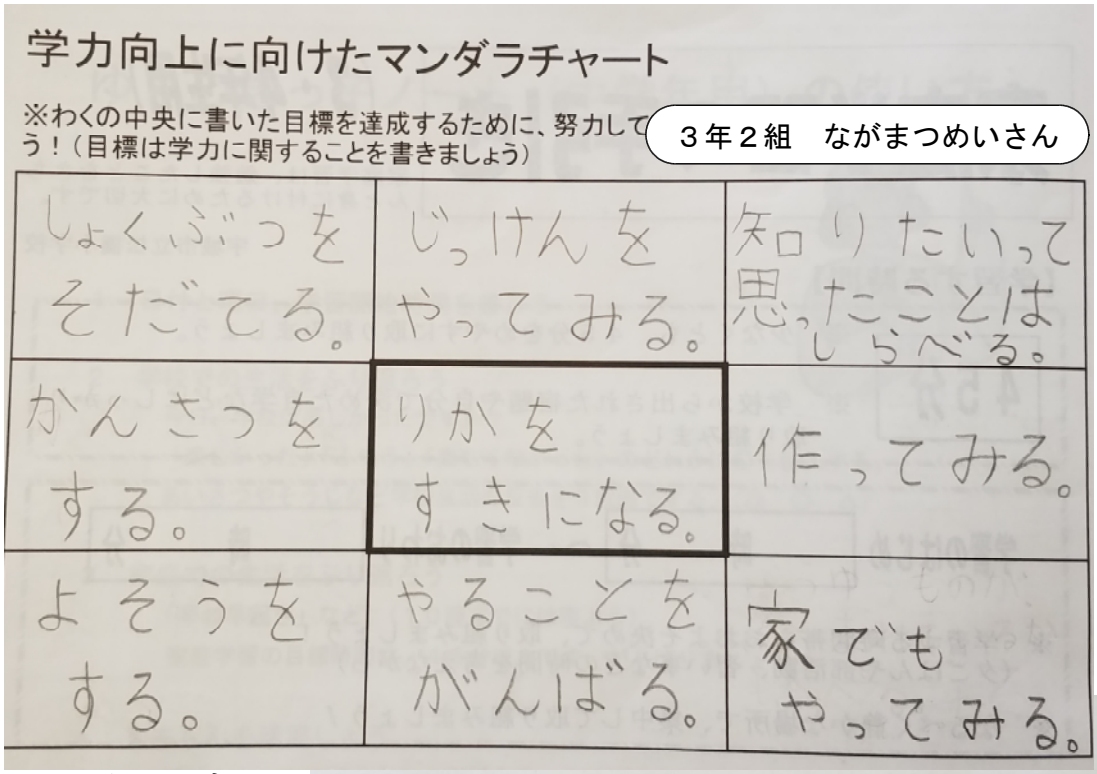
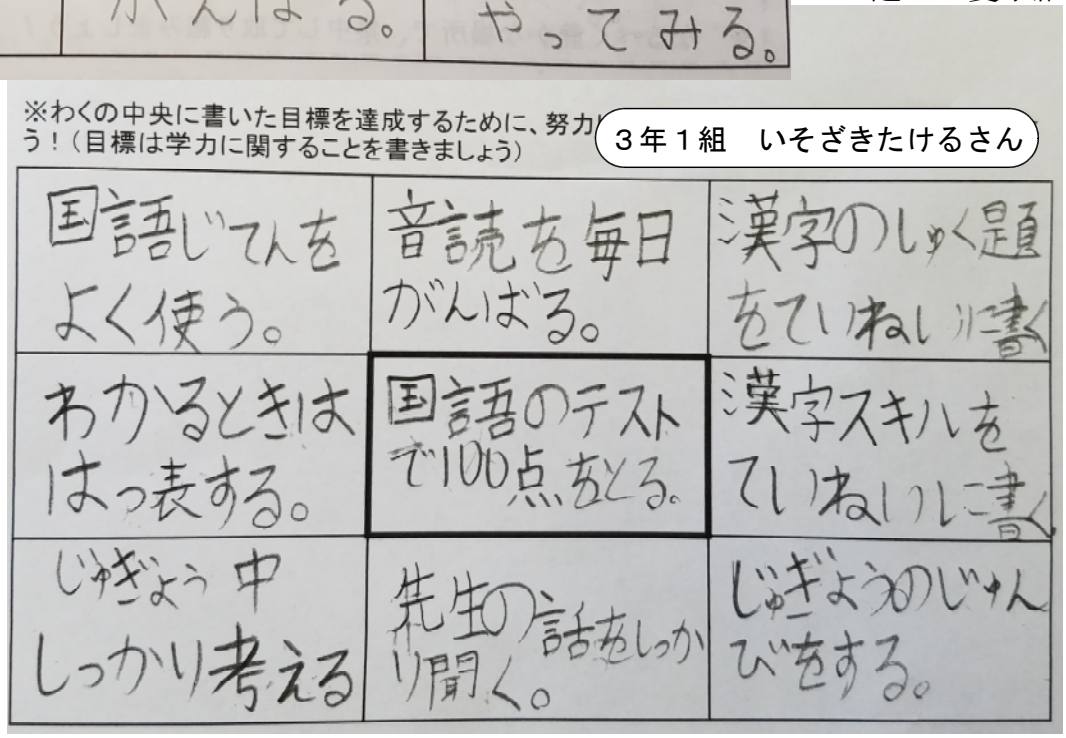
裏面には、３年生の「ゆりのきっ子ノート」の最初のページにある「曼荼羅チャート」を紹介しています。ご覧ください。

2冊目突入の子ども達続出！！～ゆりのきっ子ノート～

「ゆりのきっ子ノート」を始めて２ヶ月ほどがたちました。保護者の皆様には家庭学習の見届け本当にありがとうございます。学校と保護者が力を合わせ子ども達の学力向上に向かうことが子ども達の力を伸ばす一番の近道だと考えます。そういう意味でも、毎日の「ゆりのきっ子ノート」の見届けは大きな意味があります。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

今回は、「ゆりのきっ子ノート」の最初の１面にある「曼荼羅（まんだら）チャート」について紹介します。現在メジャーリーガーの大谷選手が「メジャーリーガーになる」という夢を実現するために１７歳のときに書いたことでもご存じの方は多いのではないでしょうか。全国学力・学習状況調査の質問の中にも「将来の夢や目標を持っていますか。」という項目があります。何かしら目標があるということは、頑張る力につながります。その目標を達成するために、今、何ができるかを書き出したものが、この「曼荼羅（まんだら）チャート」です。

平成３０年度全国学力学習状況調査の質問紙の結果によると、「将来の夢や目標を持っていますか。」の質問に対して、全国平均から９．８ポイントも下回っていました。これは、３０年度の６年生の結果ではありますが、松橋小全体の課題として取り組んでいかなくてはいけないと思っています。そういう夢や目標を持てるような取組を学校でも積み重ねていかなければと思っているところです。その１つとして、「かたる塾」も始まりました。



ここに載せているのは３年生の子ども達の「曼荼羅チャート」です。２人は、近い目標を書いていますが、どれも毎日続ければきっと目標を達成できそうです。小さな達成を積み重ねていくことが大切です。お子さんの曼荼羅チャート　今一度見てみられませんか？